

## 令和7年度ボランティア研修

宮城野障害者福祉センターのレクリエーション活動に参加してみよう  
(レクリエーション活動を通してボランティアの役割を学ぶ)を開催しました。

令和8年3月26日

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

令和8年3月26日(木)、令和7年度ボランティア研修「宮城野障害者福祉センターのレクリエーション活動に参加してみよう(レクリエーション活動を通してボランティアの役割を学ぶ)」を開催し、6名の方が参加しました。初めに宮城野障害者福祉センター職員より、自立訓練事業、生活介護事業の概要、どのような方が事業を利用しているのか説明がありました。そしてボランティア活動をする上で、利用者が自分から話したいことを話すのを待つこと、大勢の人がいる部屋に入ってくるのが苦手な方もいるので、利用者が興味を持って自分から動き出すのを待つことが大切であるということ学びました。

説明を受けた後は、センター利用者と一緒に研修参加者も輪投げやストライクアウト、ラダーゲッター等のゲームを楽しみました。特に、紐でつながったゴムボールを3段の梯子に投げて引っかけて遊ぶラダーゲッターについては、ほとんどの方が初体験だったので、うまく引っかけるのに苦労していました。卓球が得意な利用者は、研修参加者と何回もラリーを続けておられ、皆の注目を浴びていました。研修参加者の歓迎ムードに驚いて、部屋に入ることができなかった利用者も、釣りゲームでお菓子やふりかけ、ヨーヨーやコマなどの景品を釣り上げて持ち帰ることができるかと分かりますと、部屋に入って釣りゲームを始め、お菓子や玩具を手に入れて楽しんでおられ、研修参加者も安心している様子でした。

研修参加者のアンケートでは、「楽しく参加させていただきました。準備などありがとうございました」「様々なレクリエーションをご用意いただき、参考になりました」「ボランティアというより、一緒に活動できる空間や内容がよかったです」「予定が合えば、様々な研修に参加させていただきたいです」などの感想があり、好評の中で終わることができました。

今後も、登録ボランティアの方が知りたい内容の把握に努め、参加者が満足できるように研修の企画を行っていきたいと思います。

### 【研 修 風 景】

